

<BEFORE>

壁にはヒビが入り全体的に暗い印象..



お屋にはおいしい豚汁がふるまわれました



秋晴れの中ゲレンデで遊ぶ子どもたち



テントを張って焼きマシュマロも楽しみました



だいちゃんマグネットに色塗り

ぬってトン! だいくらトイレ DIYワークショップ♪



11月2日、だいくらスキー場で、だいくらトイレDIYワークショップが開催されました。『だいくらスキー場を未来につなぐ会』の皆さんのが呼びかけで、親子連れや県外のだいくらファンなど約90名が参加し、スキー場ロッジのトイレの壁などを改装しました。

スキー場への来訪者を増やすためにはどうすればよいか——新規来訪者の獲得や満足度アップを考える中で、「トイレなどの壁の塗り替えなら、子どもたちと一緒に参加できる」との発想から、今回のDIYが企画されました。当日は第1ロッジで、ハケやローラーの使い方を教わった後、男子トイレ・女子トイレの壁にそれぞれ緑やピンクのペンキを塗ったり、ロツジ入り口通路を白いペンキでお色直したりしました。途中で名前やメッセージを試し書きし、そこに重ね塗りするなど、楽しみながら作業する姿も見られました。

今回使用した木材や塗料の一部は、地元企業から無償で提供されたもので、ボランティアとして作業に参加された職人の方も。準備から当日の施工まで、地域の協力によって作業が支えられました。子どもたちが作業を終えた後は、大人たちが仕上げを担当。天井部分を塗り、壁に羽目板を取り付け、明るく温かみのある空間へ生まれ変わりました。

未来への「ひと塗り」



だいくらスキー場を未来につなぐ会
湯田浩和さん㊂と関根健裕さん㊂

【Interview】

だいくらスキー場を未来につなぐ会の共同代表として活動している湯田さんと関根さん。

今回のだいくらトイレDIYワークショップ開催のきっかけや、スキー場に対する思いについて、お話を聞きました。

**イベントを開催してみて
どうでしたか**

スキー場利用者のアンケートを参考に、新規来訪者の獲得、そして来訪者の満足度アップのアイデアを考えている中で、トイレなどの壁の塗り替えなら子どもたちもできるだろうということで、広く声をかけてDIYすることになりました。

自分たちができることは限られていますが、例えば、売店の壁に地元の木材を使用して、お客様がお土産を買っていこうと思うようなレイアウトにしたり、スキー場の魅力をSNSなどを通じて発信したりするなど、有志メンバーの強みを活かしたバックアップを続けていきたいです。

**トイレDIYを開催した
きっかけを教えてください**

**今後どのような
活動をしていきたいですか**

**だいくらスキー場を
今後どのような場所に
したいですか**

スキーをしている子どもの姿を超えて、町内外から多くの子どもが集まってくれたので良かったです。また、普段スキー場を利用している方だけでなく、スキー場に関心がある方も来てくださり、この時期のスキー場の美しさをみんなで味わうことができました。こういった活動を通して、スキー場に興味や関心を持つきっかけになってくれればと思います。

イベント情報や活動内容を
発信しています▼
(つなぐ会Instagram)



また、だいくらスキー場は南会津町への交流人口を増やすための貴重な観光資源です。今後もスキー場の皆さんと一緒に、新規来訪者、満足度アップにつながる活動を行い、町をアピールする場所にしていきたいです。

だいくらをより良くするワークショップと、雪がないゲレンデで遊べたことは、どちらも今までにない貴重な機会でした。スキーやスノーボードをやる、やらないに関わらず、スキー場を好きになる人が増えるといいなと思いました。



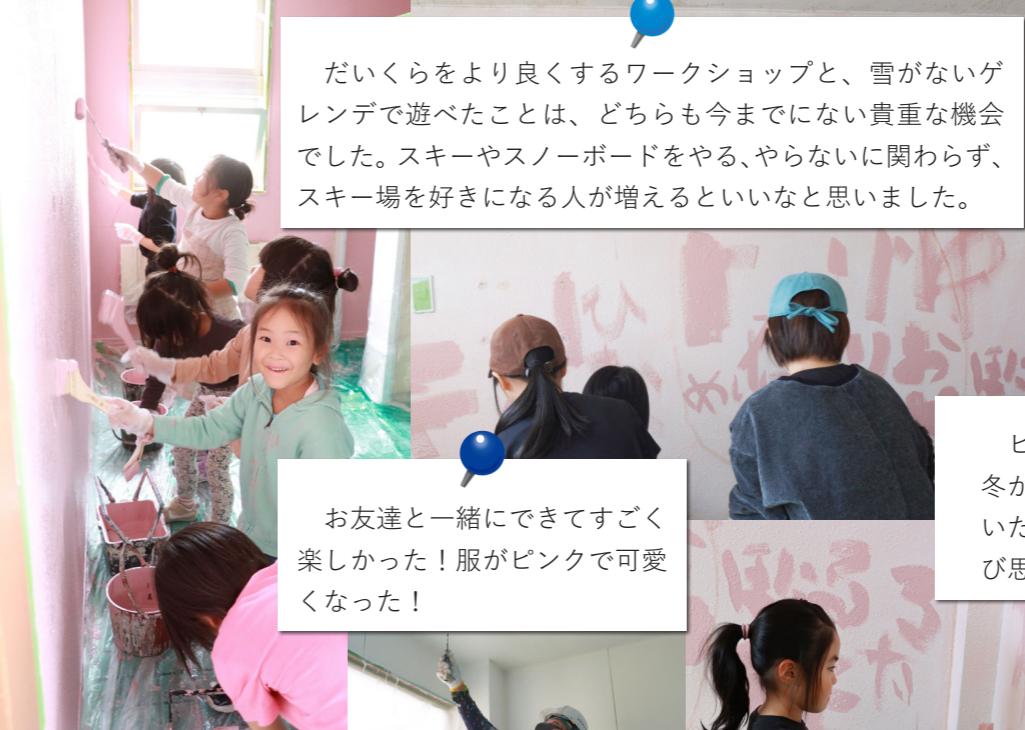
ピカピカのトイレにますます愛着がわき、冬が来るのが楽しみです。みんなの名前を描いた楽しい記憶は、これからトイレに行くたび思い出すことになりそうです。



一生心に残るような素晴らしい体験ができました。

【Voice】

参加したみなさんに、感想を聞いてみました。



お友達と一緒にできてすごく楽しかった！服がピンクで可愛くなった！



参加したみなさんに、感想を聞いてみました。



壁をローラーで塗るだけではなく、ハケで細かいところまで仕上げていくのが面白かったです。終わった後に、みんなで中央ゲレンデを登って走り回ったのが楽しかったです！



スキー場を次の世代が未来に残していくためにできることを考え、幅広い参加者を募り実践していく、そんなワークショップに参加できたことは、自分自身も子どもにとっても、とても意味のある経験になりました！

